



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三條北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会 長：金子太一郎

幹 事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三條ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三條市本町3-5-25三條ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP: <http://www.sajo-nrc.org>

AD: north@sanjo-nrc.org

本日の行事：卓話

「越北の鴻都 長善館」

- ◆本日の出席：66名中40名
- ◆先々週の出席率：66名中57名 86.36%
(前年同期 76.92%)
- ◆1月の出席状況：会員数66名
例会数4回
平均出席率 81.44%
(前年同月 80.52%)
- ◆本日のゲスト：
燕市長善館々長 倉橋 忠夫 様
- ◆先週のメイクアップ：(敬称略)
2月8日三條RC 山崎 勲
9日三條東RC 石川勝行、石川友意
西村 護、山崎 勲

* 本日の配布書類等

・週報 No.1440

会長挨拶：金子太一郎会長



皆さん、こんにちは。

本日は、燕市長善館資料館 館長 倉橋忠夫様よりお越しいただきました。大変失礼なのですが、私は長善館資料館を存じ上げていなくて、本日初めて知ったわけです。そういう意味では、

大変興味がありまして、後ほどお話を聞くのが楽しみです。よろしくお願いします。

さて、早いもので2月に入りまして、先週は例会をお休みさせていただきましたが、3日の恒例の節分の豆まきに行ってきました。5年ほど連続して参加させていただいております。豆まきの前に商売繁盛祈願祭を執り行い、ご祈祷していただきました。

これが良いのか気分的にもご利益があるような気がします。

さて先週は、安倍首相とトランプ大統領のゴルフが話題に上がっていましたが、一つ気になることがありました。2人の会見で安倍首相が、「私のポリシーは『ネバー・アップ、ネバー・イン』。常に狙っていく。刻むという言葉は私の辞書にはない」といわれました。

これはどういうことかわかりますか。調べましたら「ネバー・アップ、ネバー・イン」とはゴルフの格言で、パッティングの時、カップに届かなければ入りようがないが、届けば少なくとも入る可能性が出る。強気のゴルフの宣言だそうです。スコアは気になる所です。外務省によると、日米両首脳がゴルフをするのは、1957年に首相の祖父、岸信介首相(当時)とアイゼンハワー大統領(同)がワシントン郊外のゴルフ場でプレーして以来、約60年ぶり。その時のスコアはアイゼンハワー大統領が74、岸首相が99だそうです。今回、首相とトランプ氏はどんなスコアで回ったのでしょうか。

さて、最近の注目のニュースは、三越伊勢丹ホールディングスは10日に、旅行会社のニッコウトラベルを買収すると発表しました。既にご存知の通り、百貨店の苦戦が伝えられております。

そうした中、注目を集めているのが旅行などのコト消費。「物消費」から「こと消費」へと良く言われますが、三越伊勢丹は「コト消費の代表は旅行。団塊世代が70歳代に入ることもあり、シニアの

旅行市場は拡大していく」とにらむそうです。

取得総額は約 37 億円。百貨店の主力顧客層でもある熟年世代向けのサービスを充実するそうです。狙うのは、約 50 兆円とも言われる「シルバー市場」です。

ニッコウトラベルは東証 2 部上場の旅行会社。自社で保有する船でライン川クルーズを楽しむオランダ旅行など欧州や南米への自主企画商品が主力で、徒歩移動が少なく、長めの旅行日程でゆっくりと観光するツアーといった 60 歳以上の「熟年世代」のニーズを捉えた企画に強みを持つそうです。

なんと顧客の 95% は 60 歳以上。このうちほぼ半分は 70 代が占めるといい、平均的な旅行価格は 80 万～100 万円ほどと高めの価格帯です。三越伊勢丹がニッコウトラベル買収で狙ったのは、こうした熟年世代の「コト消費」です。

65 歳以上の人の最終消費支出から算出した「シルバーマーケット」の市場規模は先ほど申した通り約 50 兆円。2025 年には高齢者人口（65 歳以上の人）が総人口の 3 割超に達するとの試算もあり、市場規模は一段と大きくなりそうです。

三越伊勢丹はこれまでも顧客に向けたコト消費の提案に力を入れてきました。旅行では、「お得意様」と呼ぶ優良顧客向けに豪華な内装のラグジュアリー・バスを使った国内旅行などの独自企画の商品を提案してきました。2006 年には旅行事業で JTB と提携しています。

ただ、熟年世代のコト消費の開拓にライバルの百貨店をはじめとする各社がこぞって力を入れ、競争は激しいそうです。「他社との違いを打ち出すためには自主企画の商品が重要」になっているそうです。以上、本日もよろしくお願いします。

幹事報告：佐藤秀一幹事



- ・田中ガバナーより 2017 年第 1 回会員増強会議のご案内

日時 2017 年 3 月 11 日(土) 13:00～

会場 長岡ベルナール 2F

- ・地区米山記念奨学委員長より 奨学生終了式&歓送会のご案内

日時 2017 年 3 月 4 日(土) 12:00～

会場 長岡グランドホテル

- ・柏崎東 RC より 創立 50 周年記念式典のご案内

日時 平成 29 年 4 月 22 日(土) 13:30～

会場 柏崎市産業文化会館

- ・燕三条青年会議所より チラシ配布のお願い（後日配布）

「エルダーの力 フォーラム」発見 60 歳からのライフスタイル

日時 3 月 6 日(月) 19:00～ 会場 リサーチコア 7F

理事会報告：第 8 回 平成 29 年 2 月 14 日（火）11:30～12:30 於：三条ロイヤルホテル

出席者：金子太郎、渋谷義徳、岡田 健、佐藤秀一、石川勝行、羽賀一真、外山晴一、斎藤 正
石川一昭、丸山 勝、武田恒夫、湊岡 茂、渡辺 徹、森 宏、石黒隆夫

出席数 15 / 16（内委任状 3 名）

協議事項 1. 新年会決算報告 承認

2. 寒河江さくらんぼ RC 姉妹クラブ募集の件 継続審議
（詳細等確認のうえ再審議）

3. 休会申し出の件 承認

小林 進会員 6 月まで（千葉の会社へ移動のため）

4. 米山奨学生世話クラブ&カウンセラー依頼の件 承認

諸般の事情により今回は辞退

5. 報告事項（3 件） 承認

*******ロータリー財団ボックス14日現在累計270,000円*******

落合 益夫君 ロータリー財団に協力
本間建雄美君 財団BOXに協力
早川 瀧雄君 //



*******米山奨学ボックス14日現在累計357,000円*******

笹原 壯玄君 新発田に葬式に行ってきた。予報に反して積雪が少なく大変助かりました。
渡辺 徹君 協力します
森 宏君 バレンタインチョコを貰ったので米山に一口
福岡 信行君 バレンタインのチョコ貰っていませんが一口



*******ニコニコボックス14日現在累計538,000円*******

中條 耕二君 長善館 倉橋館長さんの卓話に感謝して
米山 忠俊君 長善館々長倉橋忠夫様、本日は大変お忙しい中、卓話ありがとうございます。よろしく願いいたします。
渋谷 義徳君 長善館々長倉橋様、本日の卓話ありがとうございます。宜しく願い申し上げます。
星野 義男君 倉橋様の卓話に感謝して!!
外山 裕一君 BOXに協力
高橋 彰雄君 //
岡田 大介君 //



本日の行事：卓話 燕市長善館 館長 倉橋忠夫様

講師紹介：渋谷義徳プログラム委員

「長善館」というお名前を初めて聞いた方が大多数だと思います。
旧吉田町（現在は燕市）栗生津にあります。江戸時代に開学した越後の松下村塾と言われる私塾です。多くの文化人を輩出しています。
私が初めて知ったのは某地方新聞紙の記事です。興味を持っていたところ、別の会合で倉橋館長の講話を聞く機会があり、感銘を受けました。皆様にも是非聞いて頂き、見聞を広げて頂きたいと思いお願いしました。宜しくお願いします。

「越北の鴻都 長善館」

～学塾のあゆみと門人たち～



皆さんの貴重なお時間を頂き、長善館資料館を紹介させて頂く機会を頂き喜んでおります。
初めて聞いたと言う方が多いのですが、今日は名前と場所を覚えて頂き、興味を持って頂けたら、実際に資料館にお出で頂きたいと思いますので宜しくお願い

いたします。
下田の諸橋轍次博士をご存じだと思いますが、「越北の鴻都」は諸橋先生から長善館に贈って頂いた言葉です。昭和41年文化勲章、51年勲一等を受賞された年、93歳の時に書いて頂きました。この碑が長善館にあります。長善館を40年研究されて方から記念に平成4年に寄贈されました。
この「鴻都」は中国漢時代の宮殿の門の名前。門の中には学府（学校）、図書館などがあった处と言われている。長善館を学問の府として頂いた言葉だと思います。
初代館主（創設者）鈴木文臺の孫で長善館の門人の一人鈴木虎雄は諸橋先生の恩師に当たり、文化勲章、勲一等瑞宝章等多数受賞しています。このように長善館から巣立った人達についてお話します。
受付に「長善館ものがたり」、長善館資料館の紹介を置いて頂きました。興味がある方はお声掛け下さい。
天保4年～明治45年まで80年間続きました。三代の館主と4人の先生で支え1千人を超える人材を輩出した私塾です。この時代、寺子屋、私塾、藩校（武士だけ）がありました。

国の学校制度が確立され私塾の役目は終わり明治45年に閉塾した後、食堂を改築して郵便局を始めました。

平成3年に資料館を建設しました。

初代鈴木文臺は良寛に激賞されたことをきっかけとして江戸に勉強に行く事になったと言われています。良寛との交流の中で慈悲の心、平等の心、無私の心を引き継いだ。この時代信濃川の洪水に度々さいなまれ人々は疲弊していました。皆の力を併せて生きていく、困っている人を助け、再生窮民の目的で長善館を開きました。ここで学んだ人達が地元に戻って力を尽くした。「長善」とは個性重視の教育の事で、中国の書物「礼記（らいき）」にある「人を教える者は、教わる者の長所を伸ばし欠点を補ってやるもの」という言葉が由来と言われています。

1000名の門人のうち約半数が今合併後の燕の人達です。

南蒲（当時は三条市はなかった）の出身者は記録に残っているだけで76名位です。お医者さん、お寺さん等地域で活躍するリーダー達がいっぱい育っていった。親子、兄弟で入塾するということにして多く巣立っていったようです。鈴木虎雄は文化勲章を受賞後、旧吉田町で冊子ができましたが、その中に長男の泰平が寄稿した文を紹介します。

「父の書斎は書籍が山積され、かろうじて机の前に座布団が認められる有様であった。この書斎には何人も立ち入ることを禁じられていた。母が唯一の例外であったが、物一つ移動できなかった。毎日夕食後、新聞を読み終わると書斎に引きこもった。9時か9時半頃、茶の間へ顔

を出し、団欒の後、再び書斎に引き返し、就寝は1時か2時は稀ではなかった。365日、何十年にわたってこの習慣を持続した。誠に驚くべき努力であったと思う。」

文化勲章を貰うほど素晴らしい人でも毎日、努力の積み重ねだったと思われます。

惕軒の日誌があります。明治22年3月10日（虎雄10歳）「懿介と虎雄2人を呼び、志を述べるべし。懿介は法律を学ばん。虎雄は学士とならん。」虎雄は9-12歳まで長善館で学びますが、その時に学者になりたいと思って勉強していたと表れています。12歳の時に漢詩を書いています。大成して故郷に錦を飾りたいと表した漢詩です。

門人の一人、長谷川 泰は日本医科大の前身となる済生学舎を建てました。医者育てる学校で野口英世、吉岡弥生などが済世学舎で学んだ。漢方医学から西洋医学に移行の時期で漢方医がここで西洋医学を学び資格を取りなおして世に巣立ったと言われています。

長谷川泰は予防医学も大切ということで国会議員になり水道法の改正など法律改正に関わった。現在文臺の勉強の様子を後藤託玩が詠んだ詩や文臺が71歳の時に書いた「呉船録」の書（6曲2双屏風）などを展示しています。

又、資料館を建てた後、遺族の方から沢山の資料を頂き整理が追いつかず、筑波大学の協力を得て5年かけて資料の整理が3月に終わります。その時に目録を掲げ、周知する予定です。

是非、長善館にお出で頂きたいと思っております。時間を延長してしまい申し訳ありませんでした。ありがとうございました。

長善館のあゆみ

- 1809年（文化 6）文臺14歳 解良家で後藤託玩より詩書の句読を受ける
- 1813年（文化10）文臺18歳 解良家で論語、唐詩選を講義、良寛に激賞される
- 1833年（天保 4）文臺38歳 長善館を始める
- 1854年（安政 元）新塾舎を建てる
- 1870年（明治 3）文臺75歳卒 惕軒2代目館主となる
- 1881年（明治14）惕軒 新塾舎建設 新しい教育を始める
- 1885年（明治18）惕軒、柿園館則を改正して漢英数三科を備えた
- 1889年（明治22）「北越文教を高めた」と明治政府に褒められる
- 1896年（明治29）惕軒61歳で卒 彦嶽3代目館主となる
- 1912年（明治45）彦嶽 長善館の歴史を閉じる
- 1915年（大正 4）彦嶽 粟生津郵便局を始める



長善館（六筵書院）

燕市粟生津97番地
資料館 長善館

